



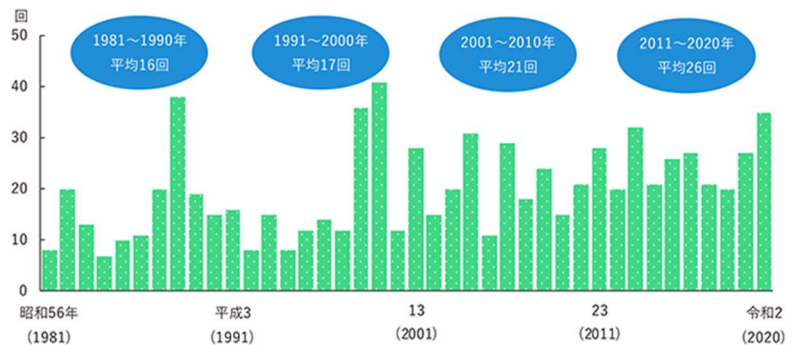
■最近の話題

平常時こそ災害に備えましょう

青森県の農村地域における健全な水・土・里は、収益性の高い農産物を生産することができる基盤であり、また、豊かで美しいふるさとの礎となっています。

農家のなりわいに必要不可欠な農地・農業用施設は、農家によって大切に維持保全されていますが、ひとたび異常な豪雨や洪水に遭うと損壊することがあり、農作物に被害がおよぶことは基より、復旧工事に時間を要し、次年度の農作物作付けに影響が出ることもあります。

近年、全国的に豪雨の発生頻度が多くなっていますので、台風シーズン前のみ、農地においては畦畔の補強、頭首工や農業用水路等の点検・管理や補修、堆積土砂等の除去などをしっかりと行って、災害に備えましょう。



1時間降水量80mm以上の年間発生回数

資料：気象庁資料を基に農林水産省作成

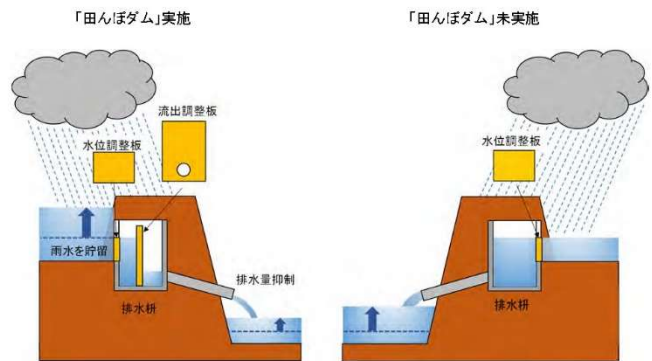
注：年間発生回数は全国のアメダスによる観測値を1,300地点当りに換算した数値

災害を防止する施設と取組について

青森県には、洪水から農地を守るために建設した防災ダムが11基あり、洪水を適切に調整しているほか、近年の異常気象に対処するため、農業用ダムの水位調整やポンプ場の活用、田んぼに一時的に雨水を貯留する「田んぼダム」などにより流域全体の水を治める「流域治水」に取り組んでいます。

災害から復旧するための支援について

異常気象により農地や農業用施設が被災した場合、一定の要件に該当する災害復旧事業については、その経費の一部を国が負担する制度があります。そのほかにも国では、堤防の決壊などで農地が湛水した場合、災害応急用ポンプ等の貸し出しを行っています。詳しくは、お住いの市町村か最寄りの地域県民局にお問い合わせください。



「田んぼダム」を実施している水田の排水イメージ

出典：農林水産省「田んぼダム」の手引き



東北農政局土地改良技術事務所
保有の排水ポンプ車

土場川地区(上北郡東北町・七戸町) ～ほ場整備事業によるビオトープ整備～

1 地区の概要

土場川地区は約 500ha の水田地帯ですが、水田の区画が小さく、また、小川原湖に近接する低平湿地であるため、慢性的に排水不良でした。さらに揚排水機場が老朽化していることから、一体的な整備を行い、水田の汎用化を実現させ、収益性の高い作物の生産を拡大することを目的として、平成 27 年度から県営経営体育成基盤整備事業を行っています。



位置図

2 区画整理工事に伴う水生生物への配慮

当地区の排水路は、原始河川の形状を残す大きく蛇行した線形だったことから、地区の受益者の総意により、区画整理工事で排水路を直線化し、効率的な農作業を可能とする長方形の水田を確保することとしました。



工事前 (大きく蛇行する排水路)



工事後 (直線化した排水路)

蛇行した排水路には、絶滅危惧種を含む多様な生物が生息しており、甲地地区水土里保全会が、地元の甲地小学校児童とともに生物調査を毎年行っていました。

地区の豊かな自然環境を残すため、県の上北地域県民局では、令和 3 年度に環境公共コンシェルジュの相馬孝氏から助言・支援をもらいながら、蛇行した排水路の撤去工事の前に保全会、甲地小学校児童、工事請負者有志で排水路に生息している生物を保護し、工事に影響のない地区外の場所に移植しました。また、地区内に新たにビオトープを設けることとし、相馬氏から構造等について助言をいただきました。



児童たちと生物を保護しました

3 今後の取組

令和 4 年度には、地区内に新たなビオトープを設けることができましたので、今年度は、地区外に一時的に移植した生物について、地域の皆さんと協力しながら地区内のビオトープに再移植することで豊かな自然環境を残し、将来の担い手になっていく児童にとって愛着のある場所を創造していきます。



地区内に設けたビオトープ